

## 提供可能な GIS データについて（データ提供用）

WebGIS に掲載されている気候予測、気候変動影響予測のうち、WebGIS 用に整備した GIS データについて、A-PLAT 事務局で提供できるデータセットは以下になります。なお、各データセットの排出シナリオや気候モデル等の詳細情報は A-PLAT のページ [【将来予測データ（WebGIS）の指標一覧と入手方法】](#) をご確認ください。

■データセット一覧（テキストリンクは下記1）～5）に示す各データセットの指標一覧に飛びます）

### 【気候予測（気候シナリオ）】

- [国立環境研究所「CMIP5 をベースにした CDFDM 手法による日本域バイアス補正気候シナリオデータ」\(NIES2019ver201909 データ\)](#)
- [海洋研究開発機構「日本近海域 2km 将来予測データ」by SI-CAT \(FORP-JPN02 version2 データ\)](#)

### 【気候変動影響予測】

- [環境省「地域適応コンソーシアム事業（2017～2020）」\(地域適応コンソーシアムデータ\)](#)
- [文部科学省「気候変動適応技術社会実装プログラム（2015～2019）」\(SI-CAT データ\)](#)
- [環境省「環境研究総合推進費 S-8 温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究（2010～2014）」\(S8 データ\)](#)

2021 年 10 月 14 日 初版作成

2022 年 4 月 26 日 更新

## ■GIS データで提供可能なデータ

### 1) 国立環境研究所「CMIP5 をベースにした CDFDM 手法による日本域バイアス補正気候シナリオデータ」(NIES2019ver201909 データ)

指標名	単位	データ形式	提供可能なデータ	対象期間	解像度	備考
日平均気温	°C	geotiff, shape	・ 期間年平均値 ・ 期間月平均値 ※基準期間 (1981-2000 年) からの変化量*	2011~2020 年、2021~ 2030 年…と 10 年ごとに 2091~2100 年までの期間	1km (3 次メッシュ)	*差分値
日最高気温	°C					*差分値
日最低気温	°C					*差分値
真夏日日数	日					*差分値
猛暑日日数	日					*差分値
降水量	倍					*相対値
日降水量 50mm 以上の日数	日					*差分値
日降水量 100mm 以上の日数	日					*差分値
日降水量 150mm 以上の日数	日					*差分値
日降水量 200mm 以上の日数	日					*差分値
無降水日数	日					*差分値
最大日降水量	日					*差分値
日平均日射量	%					*相対値
日平均相対湿度	%					*相対値
日平均風速	%	*相対値				

\* オリジナルデータは以下ページに公開されています。

- ・ [CMIP5 をベースにした CDFDM 手法による日本域バイアス補正気候シナリオデータ](#)
- ・ [A-PLAT Pro](#) ※要アカウント登録

2) 海洋研究開発機構「日本近海域 2km 将来予測データ」 by SI-CAT (FORP-JPN02 version2 データ)

指標名	単位	データ形式	提供可能なデータ	対象期間	解像度	備考
年平均海面水温	°C	geotiff, shape	・期間年平均値 ・期間月平均値 ※基準期間 (1991-2005 年) からの変化量*	2041~2055 年 (※RCP8.5 のみ) 2086~2100 年	2km	*差分値
年最大海面水温	°C					*差分値
年最小海面水温	°C					*差分値

\*オリジナルデータは以下ページに公開されています。

- ・ [DIAS \(日本近海域 2km 将来予測データ FORP-JPN02 version2\)](#) ※要アカウント登録

3) 環境省「地域適応コンソーシアム事業 (2017~2020)」(地域適応コンソーシアムデータ)

指標名	単位	データ形式	提供可能なデータ	対象期間	解像度	備考
コメ収量	%	geotiff, shape	期間年平均値	21 世紀半ば (2031~2050 年) 21 世紀末 (2081~2100 年)	1km	基準期間 (1981~2000 年) からの相対値
コメ品質	°C・日					
ハイマツ潜在生育域	-					
シラビソ潜在生育域	-					
ブナ潜在生育域	-					
アカガシ潜在生育域	-					
マツ枯れ危険度	危険度					
竹林の分布可能域	分布確率					
気候変動の速度 (VoCC)	m/年					

4) 文部科学省「気候変動適応技術社会実装プログラム (2015~2019)」(SI-CAT データ)

指標名	単位	データ形式	提供可能なデータ	対象期間	解像度	備考
白未熟粒の割合	%	geotiff shape	期間年平均値	2021~2030年 2031~2040年 2041~2050年	1km	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 排出シナリオ：RCP2.6, 8.5</li> <li>・ 気候モデル：MIROC5, MRI-CGCM3.0, CSIRO-Mk3-6-0, GFDL-CM3, HadGEM2-ES</li> </ul>
洪水氾濫（被害額）※1	万円/年	geotiff				
洪水氾濫（最大浸水深）※1	m					
砂浜消失率 (77 沿岸区分) (886 海岸区分)	%	Excel		2081~2100年	沿岸・海岸 区分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 排出シナリオ：RCP2.6, 4.5, 6.0, 8.5</li> <li>・ 気候モデル：21 モデル※2</li> <li>・ 基準期間（1986~2005年）における相対値</li> <li>・ すべての排出シナリオで 21 モデル平均値、RCP4.5 では各気候モデルの値も確認できる</li> </ul>
砂浜浸食による被害額	億円/年					
砂浜浸食による単位面積当たりの被害額	円/m <sup>2</sup>					

※1：商用利用の際はデータの提供を行っておりません。ご了承ください。

※2：21 モデル…ACCESS\_1.0, BCC\_CSM\_1.1, CanESM2, CNRM\_CM5, CSIRO-Mk3-6-0, GISS-E2-R, HadGEM2CC, HadGEM2-ES, INM-CM4, IPSL-CM5A-LR, IPSL-CM5A-MR, MIROC\_ESM, MROC5, MIROCESM\_CHEM, MPI-ESM-LR, MPI-ESM-MR, MRI-CGCM3, NOAA\_GFDL-ESM2, NOAA\_GFDL-ESM2G, NorESM1-M, NorESM1-ME

\* オリジナルデータは以下 DIAS のページに公開されています。

- ・ 洪水氾濫（被害額・最大浸水深）：[5次メッシュ（250mメッシュ）日本全国洪水氾濫被害予測 by SI-CAT](#)
- ・ 砂浜消失率：[SICAT\\_日本の砂浜消失予測](#)
- ・ 砂浜浸食による被害額、単位面積あたりの被害額：[砂浜侵食による都道府県別被害額](#)

5) 環境省「環境研究総合推進費 S-8 温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究 (2010~2014)」(S8 データ)

指標名	変数	単位	データ形式	提供可能なデータ	対象期間	解像度	備考
気温	Temperature	°C	shape	期間年平均値	21 世紀半ば (2031-2050 年) 21 世紀末 (2081-2100 年)	1km	WebGIS では基準期間からの 変化量を表示しているが、 shape には各対象期間の絶対 値も格納されている
降水量	Precipitation	倍					
斜面崩壊発生確率	DisasterSFGCMc	%					
アカガシ	ForestQAcuta	-					
シラビソ	ForestAVietchii	-					
ハイマツ	ForestPinusPumila	-					
ブナ	ForestFagus	-					
コメ収量 (収量重視)	AgricultureRiceAdp0	倍				Excel	
コメ収量 (品質重視)	AgricultureRiceLRAdp0	倍					
ヒトスジシマカ	HealthEAAD	-					
熱中症搬送者数	-	倍					
熱ストレス超過死亡者数	-	倍					
クロロフィル a 濃度 (年最高、年平均)	-	ug/L				都道府県	基準期間 (1981~2000 年) からの相対値